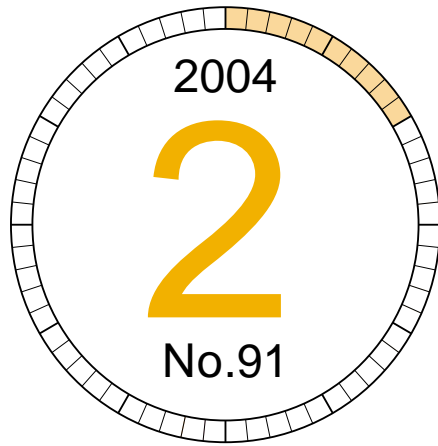


福岡市総合図書館映像ホール

シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Ciné-là



シネマニュース

🎞️ 収蔵映画特集

アジア映画の女優達
アジアの女性監督

🎞️ 特別企画

FIAF 加盟記念
大林宣彦監督講演会



「メロディ」

収蔵映画特集

アジア映画の女優達

「おもちゃ」「心の故郷」「同命鴛鴦」「あひるを飼う家」「初恋」「これを最後に」
「ムアンとリット」「レイア」「メロディ」

アジアの女性監督

「光、新たに」「オフ・ザ・リミット」「ルダリ - 悲しむもの - 」「飛びたち」「母と子」
「パロミタ」「悪魔のしるし」「上海假期」「ラスト・マレー・ウーマン」「悪女列傳」

FIAF 加盟記念

特別企画 大林宣彦監督講演会



大林宣彦監督



収蔵映画特集 アジア各国を代表する女優達の作品。

アジア映画の女優達

会期: 2月4日(水)~2月14日(土)

休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制。

チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

福岡市在住の障害者の方は無料。

福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)

2月のシネラでは1月に開催した「日本の女優達」に続いてアジア各国の女優の特集を行います。時代は様々ですが、アジア各国の、その国の映画の一時期を代表する女優達です。中にはロアン・リンユイのように伝説的な存在として語られる女優や、すでに女優としての枠を超えてオピニオン・リーダーとしてその国の映画界を牽引する存在であるクリスティン・ハキム、女優であり政治家でもあるヴィルマ・サントスなど、女優としてだけでは語れない存在も含まれます。彼女たちの活躍がアジア映画をより豊かなものになっていることは、間違いのないのではないのでしょうか。

おもちゃ Toy	あひるを飼う家 Beautiful Duckling	ムアンとリット Muen and Rid
2月4日(水)14:00 / 2月8日(日)11:00  蘇州の水郷の村で、泥人形や竹製品のおもちゃを作っている村があった。ロアン・リンユイ演じるイエお婆さんは次々と新しいおもちゃを考えるのだが、日中戦争により村はめっちゃめちゃになってしまう。中国のグレート・ガルボと評された女優のロアン・リンユイは中国映画サイレント期の大スターであった。 1933年/35ミリ/モノクロ/サイレント/108分/中国/ 日本語字幕付き/監督:スン・ユイ 出演:ロアン・リンユイ、リー・リー	2月6日(金)14:00 / 2月14日(土)17:00  リン家はアヒルの飼育をしており、美しい娘のシャオユエは父を助けて働いていた。しかしシャオユエは実の子供ではなかった。60年代台湾の「健康写真路線」映画の代表作で、主演女優のタン・パオユンは本作がデビュー、その初々しい魅力は大評判となり「アヒル飼ひ娘」と呼ばれた。しかし67年人気の絶頂期に結婚し、アメリカに移住してしまう。 1965年/35ミリ/カラー/111分/台湾/ 日本語字幕付き/監督:リー・シン 出演:タン・パオユン、グ・シャンチン	2月7日(土)14:00 / 2月13日(金)14:00  僧侶のリットは溺れかけたムアンという娘を助ける。以来ムアンはリットに恋をしてしまう。しかし僧であるリットとの結婚は許されない。女性の権利のために闘ったムアンの実話に基づいた作品。ムアンを演じるチンタラー・スッカバットはアイドル女優として人気を得たが、本作では演技派としても確かな実力を見せてくれる。 1994年/35ミリ/カラー/120分/タイ/ 日本語・英語字幕付き/監督:チュート・ソンシー 出演:チンタラー・スッカバット、サンテイスック・プロムシリ
心の故郷 Country of My Heart	初恋 First Love	レイア Lea's story
2月5日(木)14:00 / 2月14日(土)11:00  トソンは幼くして山寺にあずけられた少年だが、子供を亡くした未亡人がトソンを養子に迎えようとする。叙情的なタッチの文芸作品。主演女優のチェ・ウニは韓国の伝統的美人であり、50年代~60年代に活躍した大スターであった。デビューは47年だが、本作の清楚な未亡人役で一躍人気を獲得している。 1949年/35ミリ/モノクロ/77分/韓国/ 日本語字幕付き/監督:ユン・ヨンギョ 出演:チェ・ウニ、ピョン・ギジョン	2月6日(金)19:00 / 2月11日(水・祝)11:00  裕福な家庭の女子大生アデは若い設計技師のバステアンと恋に落ちる。しかしバステアンには、かつて殺人を犯して逃亡した過去があった。主演女優のクリスティン・ハキムは当時高校生で、監督に見いだされて本作でデビュー、大人気となる。現在も第一線で活躍する彼女はインドネシア最高の女優とまで言われている。 1973年/35ミリ/カラー/110分/インドネシア/ 日本語字幕付き/監督:トゥグ・カルヤ 出演:クリスティン・ハキム、スラムメット・ラハルジョ・ジャロット	2月7日(土)17:00 / 2月11日(水・祝)14:00  レイアは二人の子供の母親だが、二人の子供の父親は別の男性だった。女性をDVから救出する施設で働くレイアは、二人の父親と子供たち、そして周囲の批判の目にさらされながらも、強く人生を生きていく。主演女優のヴィルマ・サントスは、20年以上にわたってトップスターとして活躍しているフィリピンの大女優である。 1999年/35ミリ/カラー/113分/フィリピン/ 日本語字幕付き/監督:チト・ローニョ 出演:ヴィルマ・サントス、アリエル・リベラ
同命鴛鴦 Eternal Love	これを最後に Once and for All	メロディ Melody
2月5日(木)19:00 / 2月14日(土)14:00  福建省の古典歌劇を脚色した作品。科挙の試験に首席で合格したイーションだが、母親は自らの不貞を恥じて自殺。イーションの妻はその罪を一人でかぶるのだった。保守的な社会の中で引き裂かれていく若い夫婦の愛の物語が格調高く描かれる。主演女優のシア・モンは「神様の傑作」と歌われた美人女優である。 1960年/35ミリ/カラー/93分/香港/ 日本語字幕付き/監督:チャー・シーリン 出演:シア・モン、フー・チー	2月7日(土)11:00 / 2月13日(金)19:00  マハムードは妻と離婚して日本に出稼ぎに行こうとするのだが、妻のザーラが妊娠していることがわかる。何とか中絶しようとヤミの病院を探すのだが…。本作はイランの男優・女優大スターの競演として話題となった。女優のファテマ・モタマド・アリアは現在でもベテラン女優として活躍しており、イラン映画になくてはならない存在である。 1992年/35ミリ/カラー/93分/イラン/ 日本語・英語字幕付き/監督:シルス・アルバンド 出演:ファテマ・モタマド・アリア、ホスロ・シャキバイ	2月8日(日)14:00 / 2月12日(木)14:00  マンシとパンシの姉妹は、ボンベイの映画界で共にプレイバック・シンガーとして活躍する。インドに実在した姉妹モデルとして、ライバルとして反目する姉妹の人生を描いた作品。妹のパンシを演じるシャバーナー・アズミーは、70年代より人気女優として活躍している名優である。 1997年/35ミリ/カラー/154分/インド/ 日本語・英語字幕付き/監督:サイー・バラージペー 出演:シャバーナー・アズミー、アルナ・イラニー

特別企画・FIAF加盟記念講演会

大林宣彦 / ぼくの映画物語

開催日時: 2月15日(日)

観覧料: 600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制。

チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

福岡市在住の障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の提示が必要です)

福岡市総合図書館のFIAF(国際フィルム・アーカイヴ連盟)加盟を記念し、映画監督の大林宣彦氏をお招きし、特別講演会と映画上映を行います。8ミリ少年だった昔から現在に至るまで、常にフィルムとともに歩んで来た大林監督。その体験から、フィルムへの愛、映画への愛を語っていただきます。



大林宣彦監督

「大林宣彦 / ぼくの映画物語」プログラム

11:00 ~	「HOUSE ハウス」
14:00 ~	「EMOTION = 伝説の午後・いつか見たドラキュラ」 大林宣彦監督講演会(60分予定) 講演会には有料で「EMOTION」の料金に含まれます。
17:00 ~	「転校生」

収蔵映画特集 アジア各国で活躍する女性監督達の特集。

アジアの女性監督

会期: 2月18日(水)~2月29日(日)

休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制。
チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
福岡市在住の障害者の方は無料。
福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)

映画監督の中で、女性の存在は少ないながらもその国を代表する監督が活躍しています。今回上映する作品の中にも香港のアン・ホイ監督、フィリピンのマリルー・ディアス=アバヤ監督などアジアを代表する女性監督が含まれています。女性とって、奇異の目で見る時代は過去のもですが、やはり女性をテーマにした作品が多いことや、作品の中に現れる女性らしい優しいタッチなどはその特徴として言えるのではないのでしょうか。

悪魔のしるし Devil's Mark

2月26日(木)19:00 / 2月28日(土)11:00



胸にアザがあるために村人から悪魔だとおそれられる少女と、逃げ出した囚人の若い男が出会い、山中でひっそりと暮らし始める。いつしか少女は子供ができ、村に食べ物を探しに行った男は捕まってしまう。

外見や噂にとらわれ、本当の姿を見ようとしぬ村人と、若い二人の美しい交流が対比的に描かれる。ベトナムを代表する女性監督ヴェト・リンによる寓話的な内容の作品。

1992年/35ミリ/カラー/85分/ベトナム/
日本語・英語字幕付き/監督:ヴェト・リン
出演:ゴック・ヒェップ、ドン・ズオン

光、新たに

New Moon

2月18日(水)14:00 / 2月22日(日)14:00



フィリピンのミンダナオ島で繰り広げられるイスラム教武装組織と政府軍の戦いに巻き込まれた医師のアフマッドと彼の家族は、安全な避難場所を探して村を出る。フィリピンを代表するマリルー・ディアス=アバヤ監督が、実際に行われているフィリピンの内戦を告発し、平和を希求する目的で製作した作品。

2001年/35ミリ/カラー/134分/フィリピン/
日本語・英語字幕付き/監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:セサル・モンタノ、アミー・オーストリア

飛びたち

The Flight

2月20日(金)19:00 / 2月21日(土)17:00



1940年代のインドのアッサム地方。未亡人となったギリバラという女性を中心に、世代の違う三人の未亡人の生き方を描いており、家に縛られて自由になれない女性の姿が浮かび上がる。インド国際

映画祭で金の孔雀賞を受賞した秀作。監督のハントーナ・ポルドロイはインドで小児科医を営みながら、女優と監督をこなす才人である。

1996年/35ミリ/カラー/98分/インド/
日本語・英語字幕付き/監督:ハントーナ・ポルドロイ
出演:トゥリシャ・サイキア、トム・アルター

上海假期 My American Grandson

2月26日(木)14:00 / 2月29日(日)14:00



仕事を退職して、上海の共同住宅で暮らしているクーさんのところに、アメリカに住む息子夫婦の小学生の子供ミンがやってくる。文化も考え方もまるで違う二人はまったくかみ合わず、ミンはどうとう家出をしてしまう。香港を代表する女性監督であるアン・ホイ作品で、異文化のふれあいを監督らしい優しいタッチで描いている秀作。

1991年/35ミリ/カラー/95分/台湾=香港/
日本語・英語字幕付き/監督:アン・ホイ
出演:ホアン・クンシュエン、ウー・マー

オフ・ザ・リミット Off The Limits

2月19日(木)14:00 / 2月21日(土)11:00



ハリミはテヘラン郊外に自宅を買うが、ある日泥棒が侵入する。ハリミは泥棒を捕まえて警察につれていくが、ハリミの家は管轄外だという。別の警察署でも同じ事を言われ、ハリミと泥棒は警察をたらい回しにされてしまう。イランを代表する女性監督ラクシャン・パニエテマッド監督の監督デビュー作。

1988年/35ミリ/カラー/92分/イラン/
日本語字幕付き/監督:ラクシャン・パニエテマッド
出演:メヘディ・ハシェミ、バルヴァネ・マスマ

母と子 Child

2月20日(金)14:00 / 2月22日(日)11:00



香港で家政婦として働くジョシーは、6年ぶりにマニラに帰ってきた。しかし次女は彼女のことを忘れてしまい、長男は成績が悪くなっていた。長女は酒やドラッグに手を出し、長年家を空けた母親を非難するのだった。フィリピンの特徴ともいえる海外契約労働者の問題に焦点を当て、フィリピン映画史上空前のヒット作となった。なお「母と娘」のタイトルで日本でも劇場公開されている。

2000年/35ミリ/カラー/120分/フィリピン/
日本語・英語字幕付き/監督:ロリー・B・クイントス
出演:ヴィルマ・サントス、ジョエル・トル

ラスト・マレー・ウーマン The Last Malay Women

2月27日(金)19:00 / 2月28日(土)17:00



劇作家のハイカルはマレー人のための演劇とは何かに悩み、リゾートホテルにやって来る。そこでムスティカという美しい女性と出会う。マレー文化とは何かという問いが、三角関係の恋愛劇の中に描かれていく。監督のエルマ・ファティマは人気女優であったが、90年代半ばより監督として活躍している。

1997年/35ミリ/カラー/117分/マレーシア/
日本語・英語字幕付き/監督:エルマ・ファティマ
出演:エイズラン・ユソフ、ファニダ・イミラン

ルダリ -悲しむもの- The Mourner

2月19日(木)19:00 / 2月21日(土)14:00



ルダリとは葬式の時に雇われて泣く「泣き女」のこと。主人公のピクニは夫が死んでも懸命に生きるが、貧しい境遇の中で最後には泣き女として生活を立てていくことになる。インド北部のラジャスタン地方を舞台にした作品で、女性監督カルパナ・ラジュミーが、インド最下層の女性の人生を娯楽性豊かな語り口で描いている。

1992年/35ミリ/カラー/116分/インド/
日本語・英語字幕付き/監督:カルパナ・ラジュミー
出演:ラージュ・パッパー、アムジャド・カーン

パロミタ House of Memories

2月25日(水)14:00 / 2月28日(土)14:00



ビレシュと結婚したパロミタだが、ビレシュの家は幸福とはほど遠い家庭だった。唯一心を通わせたのは義母のショヌカだったが、やがてパロミタは映画監督のラジブと出会う。カルカッタの中流家庭を舞台にして、古い封建的な価値観が崩壊しつつある様子を描いた作品。監督のアバルナ・セーンは60年代にトップ女優として活躍、80年代から監督として多くの秀作を発表している。

1999年/35ミリ/カラー/130分/インド/
日本語・英語字幕付き/監督:アバルナ・セーン
出演:アバルナ・セーン、リトボルナ・シェンブト

悪女列傳 Bad Girl Trilogy

2月27日(金)14:00 / 2月29日(日)11:00



三人の若い監督が「悪女」というテーマで競作したオムニバス作品。三人の監督はいずれも本作がデビュー作で、三話目を担当したチャン・インユウ監督が女性らしいタッチの作品を見せている。映画に登場する「悪女」達は、自分で考え行動する好奇心旺盛な女性達で、台北の新しい女性像を創造している。

1998年/35ミリ/カラー/114分/台湾/日本語・英語字幕付き/
監督:ウェン・ヤオティン、リン・チンジエ、チャン・インユウ
出演:ファン・ルイジュン、チャン・チヤオ

HOUSE ハウス

2月15日(日)11:00



CM界の鬼才と謳われた大林監督による初の劇場用映画。映画界の常識を覆す斬新な手法が、若者たちによって熱狂的に支持された。7人の少女たちが主人公。彼女たちは夏休みに出かけた田舎の「羽白屋敷」のなかで、なんとピアノに、柱時計に、頭から食べられてしまう。

1977年/35ミリ/カラー/88分/東宝/
監督:大林宣彦/主演:池上季実子、大場久美子

EMOTION=伝説の午後・いつか見たドラキュラ

2月15日(日)14:00



大林監督の自主映画時代の代表作。以後の個人映画、実験映画の世界に大きな影響を与えたまさに伝説のカルト作品。ドラキュラ映画へのオマージュというスタイルをとりつつ、海辺で育った天衣無縫な少女と、大都会で暮らす内気な少女との出会いを描く。

1966年/16ミリ/カラー/39分/
監督:大林宣彦/主演:田畑エミ、石崎仁一

転校生

2月15日(日)17:00



大林監督の郷里・尾道を舞台にした、「尾道三部作」の第一作。8ミリ少年の中学生と、転校生の少女との間で起こるドタバタ劇を、ノスタルジックに、叙情豊かに描く。もし中学生の男女の体が入れ替わってしまったら。そんな荒唐無稽な「物語」が、美しい風景のなかで切なく愛おしく繰られる。

1982年/35ミリ/カラー/112分/日本テレビ=ATG/
監督:大林宣彦/主演:尾美としのり、小林聡美

2月 上映スケジュール

1 日	休映日
2 月	休館日
3 火	休館日
4 水	【14:00】おもちゃ
5 木	【14:00】心の故郷 【19:00】同命鴛鴦
6 金	【14:00】あひるを飼う家 【19:00】初恋
7 土	【11:00】これを最後に 【14:00】ムアンとリット 【17:00】レイア
8 日	【11:00】おもちゃ 【14:00】メロディ
9 月	休館日
10 火	休映日
11 水	【11:00】初恋 【14:00】レイア
12 木	【14:00】メロディ
13 金	【14:00】ムアンとリット 【19:00】これを最後に
14 土	【11:00】心の故郷 【14:00】同命鴛鴦 【17:00】あひるを飼う家
15 日	【11:00】ハウス 【14:00】EMOTION=伝説の午後 1つが見たドラキュラ / 大林宣彦監督 講演会 【17:00】転校生
16 月	休館日
17 火	休映日
18 水	【14:00】光、新たに
19 木	【14:00】オフ・ザ・リミット 【19:00】ルダリ -悲しむもの-
20 金	【14:00】母と子 【19:00】飛びたち
21 土	【11:00】オフ・ザ・リミット 【14:00】ルダリ -悲しむもの- 【17:00】飛びたち
22 日	【11:00】母と子 【14:00】光、新たに
23 月	休館日
24 火	休映日
25 水	【14:00】パロミタ
26 木	【14:00】上海假期 【19:00】悪魔のしるし
27 金	【14:00】悪女列傳 【19:00】ラスト・マレー・ウーマン
28 土	【11:00】悪魔のしるし 【14:00】パロミタ 【17:00】ラスト・マレー・ウーマン
29 日	【11:00】悪女列傳 【14:00】上海假期

アジア映画の女優達

アジアの女性監督

アーカイヴ NEWS

フィルム保存の現在

1980年、第21回国連教育科学文化機関(ユネスコ)総会で、一つの勧告が採択されました。「動く映像の保護と保存に関する勧告」というものです。その勧告は「各加盟国は自国の国産映像を自国の文化遺産として位置付ける」という書き出しで始まっています。ここで言う「動く映像」とは、すなわち映画のことです。もちろん劇映画に限らず、短編映画、科学映画、ニュースリール、記録映画、アニメーション、教育映画なども含まれます。また個人映画もここに加入することができず。そうした映画を、自国の文化遺産として位置付けること。そして、文化遺産である以上それは保護され、保存されねばならないということ。これがフィルム・アーカイヴの根本的な活動理念となっています。

もちろん80年以前にもフィルム・アーカイヴは存在していましたし、重要な役割を担っていました。しかしその存在意義に対しては、極めて限られた理解しか与えられていなかったのではないかと想像します。例えば「映画を専門に研究する人、または愛好する人たちだけの施設である」と。ですから、「映画を文化遺産として位置付ける」というユネスコの勧告が、フィルム・アーカイヴの存在意義を強く認め、その活動に対する理解を広く呼びかける手助けになったことは間違いのないでしょう。

80年以降、それまで映画を保存

するという文化的価値観を持たなかった国にも多くのアーカイヴが誕生しました。また地域レベルでの保存活動も活発になされていきます。そうした、フィルム・アーカイヴの普及を積極的に推進し、その中心的な役割を担ってきたのがFIAF(国際フィルム・アーカイヴ連盟)です。福岡市総合図書館が、フィルム・アーカイヴ機能を持つ図書館として誕生したのも、決してFIAFの活動と無縁ではありません。「フィルムを保存すべし」という世界的な大きな流れのなかで、誕生すべくして誕生したのだと思います。

ところで、ユネスコの勧告から20年あまりが過ぎ、今、フィルム・アーカイヴは別の問題と直面しています。デジタル技術を用いて導入するかどうかという問題です。映画をオリジナルのフィルムのままで保存するというのが、今までの私たちの立場でした。そのために大変な努力を費やしてきた。つまり、フィルムというのは、労力を費やさねば確実に劣化してしまうわけですが、一方、デジタル技術は「半永久的に劣化しない」「保存に適している」というキャッチフレーズで登場してきました。みなさんもTVショッピングなどで何度も耳にしていると思います。

ここで私たちは考えてしまうのです。デジタルの画像というのは単なる情報に過ぎないのではないかと。それは保存されているのではなく、実際は一時的に記憶されているに過ぎないのではないかと。しかしこんな私たちの不安をよそに、技術の革新はデジタル時代を謳歌することになるでしょう。フィルム・アーカイヴにとっては大変な試練の時代に入っていくのかも知れません。

松本圭二(映像管理員)

インフォメーション

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成16年3月号～平成16年4月号(3月発行)までの郵便切手(90円×2ヶ月)を同封の上、下記宛先へお申しください。

宛先:〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)

詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: 天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分)
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話:733-3333)に直接お問い合わせください。

公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609
福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザイン/株式会社ホワイトスペース 印刷/株式会社修文堂印刷